



毎日、『心を込めて菓子作り』しています。

- Q. 創業はいつですか?
A. 明治26年(1893年)で創業124年、創業者の格太郎、厳、寛、私で4代目、屋号の最正堂は、『最も正しく商売道に勤む』という形で仕事をしていけと父から言われてきました。
- Q. 屋号通りお人柄からもそれが滲み出ていると思います。4代目になられたきっかけは?
A. 私の兄の嫁が病気ということもあり、商売は夫婦2人で協力していかなければならないということで私が4代目となり、兄は専務として頑張ってもらっています。
- Q. 社長と奥様とお兄様で頑張っていってらっしゃるということですが、有名なお菓子がありますよね。
A. 兵庫県花「野路菊」にちなんだ銘菓の『野路菊の里』がございませぬ。
- Q. コーヒーもお茶もどちらにも合いますね。
A. 有難うございます。販売して53、4年になりますが、当時は珍しく和洋折衷のお菓子で、餡が黄身餡で、それに練乳をミックスしてあり日本茶、紅茶どちらにも合います。
- Q. その『野路菊の里』がすごいことになっていると。
A. 兵庫県とANA(全日空)が提携し、“兵庫県の味”を味わっていただくという企画が9月～11月にありまして、スイーツ部門で選ばれ11月の一ヶ月間、成田空港、羽田空港の国際線のスイートラウンジで無料提供しております。
- Q. お菓子を作る現場には立ち会われるんですか?
A. 私は梱包～出荷までの段階を責任を持ってやっています。5時に起床し、下準備をし、7時くらいから焼きあがっていきます。普段は約5,000個を2時間程度かけて製造します。
- Q. 奥様もですか?
A. フォローしてもらっています。
- Q. 奥様に“ご主人を一言で表現するとしたら”とお伺いしたところ、『凜としている』とおっしゃいました。(場内 「へえ〜」「ほお〜」私もそう感じました。ご商売に対しての情熱を傾けている中で、一番気をつけていることは何ですか?
A. 従業員の皆さんに、「毎日『心を込めて菓子作り』をして下さい」と言っています。包装一つにしても、『心を込めて自分の一番大切な人に渡す気持ち』が大切であると言っています。私のモットーです。
- Q. 甘いものは好きですか?
A. 仕事として、検査も兼ね毎日のように口にします。



- Q. お仕事の一環として召し上がってらっしゃるということなんですね。甘いものの代わりという、例えば…ビールは好きですか?
A. ビールしか飲みませぬ。
- Q. ビールと和菓子はさすがに合わないですか?
A. 和菓子は関係なく、晩はビールです。
- Q. 奥様の手料理は美味しいですか?
A. 美味しいです。
- Q. ビールと和菓子はどちらがお好きですか?
A. やっぱビールです。(場内笑い)

インタビュー掲載店舗情報

中屋
住所:高砂市高砂町鍛冶屋町1422-1 TEL:079-442-1558
営業時間:9:30~17:00(銀座商店街内)
定休日:水曜日・日曜日

(株)名産神戸肉 旭屋 <https://www.asahiya-beef.com/>
住所:高砂市伊保港町1-8-13 TEL:079-447-0353
営業時間:9:30~19:00
定休日:日曜日

ライスショップ ハセガワ <http://o-kome.net/>
住所:高砂市百合丘4-5 TEL:0120-920-444
営業時間:8:30~19:00
定休日:日曜日・祝日

(株)柴田最正堂
住所:高砂市高砂町南本町907-2 TEL:079-442-1737
営業時間:8:00~18:00
定休日:水曜日

公開インタビューへ参加したい＆自分のお店を知ってもらいたい方は是非ご連絡ください!

皆さん、お店や店主の事、少しは知っていただけましたでしょうか。誌面にはほんの一部しか掲載できず、公開インタビューでもっと深いお話がいっぱい!! 是非お店に足を運んでいただき、店主や商品の魅力に触れてみてください。
なお、当部会ではこれからもこの事業を行ってまいりますので、次回の公開インタビューには是非会場にお越しください。
また、「ウチの店を知ってもらいたい!」「こんな商品あるんやで!」等、自分のお店を紹介したい“○○屋さん”はご連絡下さい。(応募者多数の場合は、こちらにて決定させていただきます。ご了承ください。)

連絡先 高砂商工会議所 商業部会事務局 担当:中村/澤田
兵庫県高砂市高砂町北本町1104 TEL.079-443-0500 FAX.079-442-0369 HP.<http://www.takasago-cci.or.jp/>

- インタビュー紹介
- 中屋
- ライスショップハセガワ
- (株)名産神戸肉 旭屋
- (株)柴田最正堂

もっと知りたい! あの店!この人! 通信



写真:左(公開インタビュー中の一コマ)
公開インタビューの時間、終始和やかな雰囲気でした。
写真:右(インタビュー後、関係者の皆様と)
インタビュー後、関係者の皆様と記念撮影を行いました。

11/9 公開インタビュー実施しました!

去る11月9日(木)、高砂商工会議所 大会議室におきまして、今期の商業部会事業である「もっと知りたい!! あの店! この人!」公開インタビューを実施しました。近年、大規模店舗が数多く出店されるなか、市内にはたくさん頑張っている個店があり、その個店の魅力を多くの皆さんに知っていただきたいとの思いから、この事業を行うこととなりました。

第1回目ということで、今回は部会員の中から4名の“○○屋さん”にお越しいただき、お店の事からプライベートまでインタビュー形式でいろんな事をお聞きしました。インタビュアーは当所会員T.C.Cほっとすまいるの村角美紀さん。

村角さんの話術に4人の人柄や本音がポロリ!

楽しいインタビューの様子を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



インタビュー する人

村角美紀

TCCほっとすまいる 代表
高砂商工会議所会員/高砂商工会議所青年部所属
プライダル・イベント司会
マナー講座・話し方レッスン講師

商業部会について

高砂商工会議所では、会員様が営んでいる主要な事業の種類ごとに、7部会が設置されています。

それぞれの部会が、事業の適切な改善発達を図るため、部会事業を展開しています。特に今年度は、部会の機能強化のための再編成が行われ、部会事業を活発に行っています。

商業部会においては、高砂の魅力ある個店を広く発信し、商業の発展を図るため、今回のインタビュー事業を実施しました。

今後も会員相互の発展につながるような事業を企画していきますので、引き続きご協力の程、よろしくお願いいたします。



高砂の八百屋さん

中屋
岸田 秀樹 氏



八百屋さんを増やす方法があれば教えていただけませんか～

Q. 中屋の代表、岸田 秀樹さんです。商店街のお店はいつからされてるんでしょうか？
A. 1月末でちょうど2年になります。

Q. 以前は別のところでされてたんですね？
A. もう無いですが、親が松熊市場で昭和31年からしてまして、サンモールが出来てそこに新店して、30年ほど。それで、10年ほど空白があって、その間、給食や福祉関係へ食材を届けてました。その後、サンモール、西友が無くなった時に新店の話があって。また小売に戻ると思ってなかったんですけど。

Q. そうですか。お店をするにあたり、さあ、もう一回やろうって思われたわけですね？
A. 店頭はちょっと無理、と思ってたんですが、生鮮を扱う店がなくなってしまったと。で、銀座商店街さんでされた朝ごはん市から話があって月1回品物を売ってたら、お客さんから声かけられたり、いろんな話になって。

Q. 地域の抱えている事情、現状や、近くの方からの声を直に聞かれて、やってみよう、と？
A. 一番にはお客さんと話したり触れ合うのが好きなんじゃないかな。朝起きるのが3時前とかで大変ですけど。

Q. すごいですね、その生活を毎日？
A. 基本二人なので、その時間帯を有効に使わないと回らないというのがあります。

Q. そうなんです。お客さんとは接客というより、地域の方との交わりという感じでしょうか？
A. そうですね、お客さんは高齢者の方がほとんどなんです。で、僕が出店を決断したのは親の代が一番世話になった80歳以上の買い物に行きたい人たちが困っておられるからなんです。

Q. そうですよ。若い人は値段やきれい、汚いとかで商品を決めますけど、高齢者の方は品物のいいところを知っておられるから「こんなあるやろか」とか、逆に聞かれて。こんな求めるねん、とか話をして、仕入れたりします。スーパーは規格品だけだからそういう人はなかなか満足できないと思いますね。

Q. お年を召した方ということはそれだけ知識もお持ちということですよね。それに私たち世代とは買い物の基準が違うかもしれませんね。
A. それと高齢者の方って、話するのを楽しみにそこに来るんですよね。

Q. 中屋さんがコミュニティーになって、お客さんが岸田さんの顔を見に来られたりっていうのはあるでしょうね。
A. 自分も、生鮮以外の商品を買に行きますけど、正直、面白くない。昔はいい商品を売る店や、曲がってても新鮮なものを売る店とか、いろんな店があるのが楽しかったんですよ。今はどこも同じ物しか並んでない。

Q. そうですよ。さっき休みもない、という話をしましたが、そんな中、楽しみってありますか？
A. 週一回、土曜日の夕方から嫁さんとボーリングに…。



Q. ボーリングデート！
A. ちがうちがう、1レーンずつを、黙々と15ゲームぐらい。(場内笑い)
Q. そうですか。なんとボーリングデートという話が出ましたが、じゃあ最後に質問を。一番好きな野菜はなんですか？
A. ジャガイモとイモ類でしょうかね。
Q. あんまり野菜野菜した感じじゃないですね。一番好きな食べ物は？
A. お肉ですね。(場内笑い)

百合丘の米屋さん

ライスショップハセガワ
長谷川 昭博 氏



今日はドキドキですが、いつもの倍ごはんを食べてきたのできつと大丈夫！

Q. 長谷川昭博さんです。現在のお米屋さんをご自身が創業なさったのですか？
A. はい、私で3代目です。

Q. お米屋さんになれる前のお仕事は何ですか？
A. 10年間ほど会社員で営業職をしていました。

Q. なぜお米屋さんを継いだのですか？
A. はい、営業職時代は中間ユーザーへの仕事でしたから、商品を販売していても末端ユーザーの声が聞けませんでした。実家の商売は末端ユーザーとの繋がりが、いずれは戻りたいと思っていました。

Q. 前職と全く違う業界ですよね？
A. はい、以前は住宅設備メーカーでしたので。

Q. 継がれて早々は？
A. 何をやればいいのか分からず、同業の方に教わりながらやっていました。

Q. インターネットでの販売は？
A. はい。インターネットでは一般では売られていないようなお米を販売しています。

Q. 私が実際にお店に伺いましたら見たこともない名前のお米があったりしたのですが。
A. 私自身普通の米ではだめだということで全国各地の生産者さんと、その中でも特にこだわった米作りをされている農家と繋がりがそこから仕入れて販売させてもらっています。



Q. そこが拘りですか？
A. はい。生産者さんのところへ行き情報交換もしています。

Q. お客様と接するようになられてどうですか？
A. お客様にはどういった好みがあるのですか、というところからお聞きしています。次回来店された時に、あの時に勤めてもらったお米がおいしかったとか、逆に好みとは違ったとか、そういったことを言っていたら関係が非常に楽しいです。

Q. 目的をもってそれを買って来られるからこそ、お勧めできる商品がありますもんね…。突然ですが、好きな女優さんは？(場内笑い)
A. 実は今日同級生が2人来ているんですよ。

Q. あら。そうなんですか。
A. 彼らからすると何をこんな当たり前のことを聞いているんだと。もちろん原田知世さんです。

Q. 同級生さんどこ？原田知世さん好きなの？(同級生) 中学校ぐらいから。



Q. ずっと？(同級生) ずっとです。

(場内) 我々昭和生まれの世代はお店との信頼関係の中でお店から説明を受けてお米を購入していました。インターネットも活用されている長谷川さんの商売のやり方について、もう少し深くお聞かせください。

A. うちはずべて玄米です。その場で精米してお持ち帰りいただけます。購入量が多い場合はそのまま持って帰っていただく置き場所に困り、夏場は虫が湧いたりする可能性があります。その場合は一部お持ち帰りいただき、残りはうちで預かり必要な時にお電話でお届けします。これはご好評をいただいております。

伊保のお肉屋さん

(株)名産神戸肉 旭屋
新田 滋 氏



旭屋はこだわります！昔も今もこれからも…



Q. (株)名産神戸肉 旭屋代表、新田 滋さんです。まず創業は何年ですか？
A. 大正15年創業です。

Q. 当初からお肉屋さんですか？
A. はい。祖父が荒井で創業しました。

Q. お肉一筋で、ずっと高砂にお住まいですか？
A. はい、高校卒業後26歳まで東京でサラリーマンをしてました。

Q. 東京で青春時代を過ごしたんですね。
A. 突然、妹に「お父さんが危ない」と聞いて帰ったら、食肉学校の入学が決まられていました。(場内笑い)

Q. 旭屋さんといえばコロッケ…
A. コロッケ屋と思われていますが、お肉も売っています。

Q. そうですね。お肉屋さんがコロッケに着眼したきっかけは？
A. ネット通販開始時に目玉商品が欲しくて、改めて作ったコロッケがヒットしました。

Q. そのコロッケに神戸牛が入ってる？
A. はい。

Q. 神戸牛で人気に火が付きすぎたということですね。
A. うちの店はこだわのお店ということで、知らない人が育てた物は使わないんです。牛も豚も鶏も野菜も知り合いが育てたものを扱っています。

Q. 生産者の顔が見えるということですね。
A. はい。

Q. 自身の目で確認したものは安心感がありますね。
A. はい。牧場で確認した牛を、後日セリで落札するというのが仕入れの流れです。

Q. お休みはどうされていますか？
A. 牧場に行って牛を見るか、人気のお肉屋さんの陳列を見るか、飲んで寝るかです。

Q. 新田さんは何を飲まれます？
A. アルコールは何でも好きです。

Q. 店舗は伊保の本店だけですか？
A. 神戸市から声を掛けて頂いて、北野にもお店を出しています。

Q. 神戸といえば様々なお店がありますが、疲れたという時に選ぶお店はありますか？
A. 「餃子の古屋」さんってネギ味噌餃子の美味しいお店です。元町駅すぐ側なので、ギリギリまで飲んで食べて駅へダッシュできるという…。

Q. そこまでして食べたいんですか？
A. はい。

(場内) 旭屋さんといえば、コロッケしか知らなかったんですが、今は何年待ちですか？なぜもっとたくさん作って売らないんですか？
A. 14年待ちで、今はもう販売停止しました。当初は1個270円で販売していましたが、お肉だけで400円ぐらいかかっていました。個数を限定せず、人を雇ってたくさん作ればよかったんですけども、それをやっている今頃お店は無くなってたと思います。

Q. 14年待ちとは驚く数字ですが、新田さんにはお肉屋さんとしてこれからも頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。
A. ありがとうございます。

